

HCL information

検査内容変更のご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

●変更実施日 : 2020年 1月 14日(火) 受付分～

●変更内容

案内書掲載頁	項目コード	変更内容	変更後	変更前
P4	7165	項目名称	胃がんリスク層別化検査(ABC分類)※	ABC検診
		報告書	E群(除菌群)の追加 ※裏面参照	A～D分類

※日本胃がん予知・診断・治療研究機構から出された「新しいABC分類 胃がんリスク層別化検査(ABC分類)2016年改訂版運用の手引き」に基づいています。

●E群(除菌群)は、下記の通り別コードの運用となります。

案内書掲載頁	項目コード	検査項目	概要
未掲載	7524	E群(除菌群)	胃がんリスク層別化検査にて、除菌治療を受けた方は、ABC分類判定対象外E群として扱われます。ご依頼の際は、除菌治療の方は明記していただくようお願いします。

※ その他検査内容に変更はございません。



HCL 株式会社 兵庫県臨床検査研究所

姫路本社 TEL: 079-267-1251 神戸西支所 TEL: 078-929-0492 食品衛生管理MEL TEL: 079-267-1253
岡山支所 TEL: 086-952-5218 神戸東支所 TEL: 078-252-7315 病理検査室HPL TEL: 079-268-1101

変更後の報告書サンプル

胃がんリスク層別化検査報告書

病院名
 被検者名
 カルテNo
 採取日
 受付日
 報告日
 IDNo
 殿
 性別
 年齢
 担当医

検査項目名	検査結果		ペプシノゲン判定
ペプシノゲンⅠ (PGⅠ)			
ペプシノゲンⅡ (PGⅡ)			
ペプシノゲンⅠ/Ⅱ比			
ペプシノゲン陽性判定基準	PGⅠ値が 70.0ng/mL以下 かつ PGⅠ/Ⅱ比が 3.0以下		

検査項目名	検査結果	基準範囲	判定
ヘリコバクター・ピロリ抗体			

*** ABC分類判定結果 ***



結果コメント

株式会社 兵庫県臨床検査研究センター (検査機関)

胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)

ABC分類とは胃の健康度を調べる検査で、胃粘膜萎縮マーカーであるペプシノゲン (PG) 検査と胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因とされているヘリコバクター・ピロリ (Hp) 抗体価検査の2種類の血液検査を組み合わせ、胃がんなどのリスクをA、B、C、Dの4群に分類して評価する検査です。

ペプシノゲン検査

食べ物の消化に関与する「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を調べることで胃粘膜の萎縮 (老化) の状態を客観的に調べる検査です。

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃酸の分泌や胃粘膜の免疫能の働きが不十分な幼少期頃までに感染すると考えられ、大人になってから感染することは稀だといわれています。ただし、ヘリコバクター・ピロリ抗体が陰性 (-) の人にもごく稀ですが胃がんが発見されることがあり注意が必要です。

A B C 分類 (A B C 分類)	ヘリコバクター・ピロリ抗体	
	(-)	(+)
ペプシノゲン検査	(-)	A 群
	(+)	D 群
		B 群
		C 群



A 群 健康的な胃粘膜と考えられます。ピロリ菌の感染はほとんどなく、胃がんなどの病気になる危険性は低いです。ただし稀にこの群の中から胃がんが発生することがあり定期的に内視鏡検査を受けましょう。



B 群 少し弱った胃粘膜です。ピロリ菌に感染しており、胃がんなどの病気になりやすい危険群と考えられます。胃潰瘍・十二指腸潰瘍の場合もピロリ菌が関与しており定期的に内視鏡検査を受けましょう。



C 群 弱った胃粘膜です。ピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮が進行しており、胃がんなどの病気になりやすい危険群と考えられます。内視鏡による定期的な検査を受け、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。



D 群 かなり弱った胃粘膜です。胃粘膜の萎縮がさらに進行し、ピロリ菌も生息できない状態と考えられます。胃がんなどの病気になりやすい、より危険群のため必ず内視鏡検査を受けましょう。



E 群 ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E 群 (除菌群) として定期的に内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありせんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

ABC分類判定対象外



査責任者 島田一彦



C 群 胃がんなどの病気になりやすい危険群と考えられます。内視鏡による定期的な検査を受け、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。



D 群 かなり弱った胃粘膜です。胃粘膜の萎縮がさらに進行し、ピロリ菌も生息できない状態と考えられます。胃がんなどの病気になりやすい、より危険群のため必ず内視鏡検査を受けましょう。



E 群 ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、除菌判定の結果に関わらず、E 群 (除菌群) として定期的に内視鏡検査を受けましょう。除菌により胃がんになるリスクは低くなりますが、決してゼロになるわけではありせんので、除菌後も内視鏡検査による経過観察が必要です。

報告書の説明文および、判定結果に“E群”を追加しています。

※ご依頼の時点で、除菌治療を受けた方と判断できるように、記載をお願い致します。